


# 認知症高齢者グループホームにおける 新型コロナウイルスクラスターへの対処法

理念  
共に生きる



社会医療法人 耕和会

 グループホーム 太陽の丘  
*Group Home Taiyo No Oka*

---

ユニット数	3ユニット 27名 平均介護度 2 (1.5)				
職員状況	介護19名 介護福祉士 11名 介護職8名(障雇2名) 12名3年未満 看・準看護師2名経験年数				
建築構造	平屋構造				
医療連携体制加算	Ⅲ算定				
協力医療機関	迫田病院				
コロナ感染による対応期間	①令和5年1月2日～13日 ②1月13日～1月26日				
PCR検査日		1月4日	1月13日	1月16日	1月18日
検査者数(延べ)	55名	利 12名 職 10名	利 10名 職 3名	利 8名 職 4名	利 4名 職 4名
陽性者数	6名	利 0名 職 2名	利 0名 職 0名	利 2名 職 2名	利 0名 職 0名
解除日/終息宣言日	1月26日/1月27日				
感染者	利用者		職員		
	2/27		4/21		
コロナ感染に伴う重症者	0名 ※期間中の特変者1名 脳梗塞				
係まし経費申請額	¥737,498				

## 感染経緯

		感染経緯	潜伏期間	潜伏期間勤務状況	症状発生時勤務	備考
1期 1月2日 ～	職員A	不明	4日間	日勤	日勤 早退	1月2日発症
	職員B	職員Aとの接触	4日間	日勤	日勤	N95マスク 1月5日発症

		感染経緯	潜伏期間	潜伏期間勤務状況	症状発生時勤務	備考
2期 1月13日 ～	職員C	家庭内感染		休 日勤	夜勤中 無症状	13日陽性
	利用者A	職員Cと接触	3日間	移動制限 マスク	リビング	14日PCR陰性 15日抗原検査陽性
	職員D	職員Cと接触	7日間	夜勤明け後 自宅待機	自宅待機中	14日PCR陰性 17日PCR陽性
	利用者B	職員Cと接触		移動制限困難 マスク	リビング	14日PCR陰性 17日PCR陽性 ※16日のみ発熱

# 感染発症までの取り組み

1	太陽の丘における感染対策	令和2年2月17日より 報道・感染週報を基に注意喚起
2	感染予防の研修・教育の実施	月1回の委員会の開催 感染に関する研修年2回 リモート含む ガウンテクニック ソーニングの図上訓練
3	感染発生時の 対応策連絡体制	家族への説明会を年2～3回実施 かかりつけ医療機関、主治医への休日等の連絡体制確保
4	面会の対応策	緊急事態宣言以外は屋外面会を基本 面会の時間指定 お便り帳で伝達 看取り、認知症の症状に応じて管理者判断にて室内面会を許可
5	感染対策の実施状況	3人一組にエリア分けをして提供 シールド等は使用困難 ⇒結果通常の食事提供 感染発生時は紙皿等で提供  事業所内の換気 空気の対流を防ぐ目的で紙縫りを使用し空気の流れを常に確認  情報ありきで、その都度注意喚起 N94マスクとN95マスクを感染者数に応じて使い分け 県外往来について申請書の提出

# 家族にお願いしてきたこと

- 面会制限のルール
- 家庭内感染時の報告
- 感染発生時の居室変更の承諾
- 業務協力の依頼（感染者3名以上）

以上の内容を毎月発行する  
お便り帳に記載。

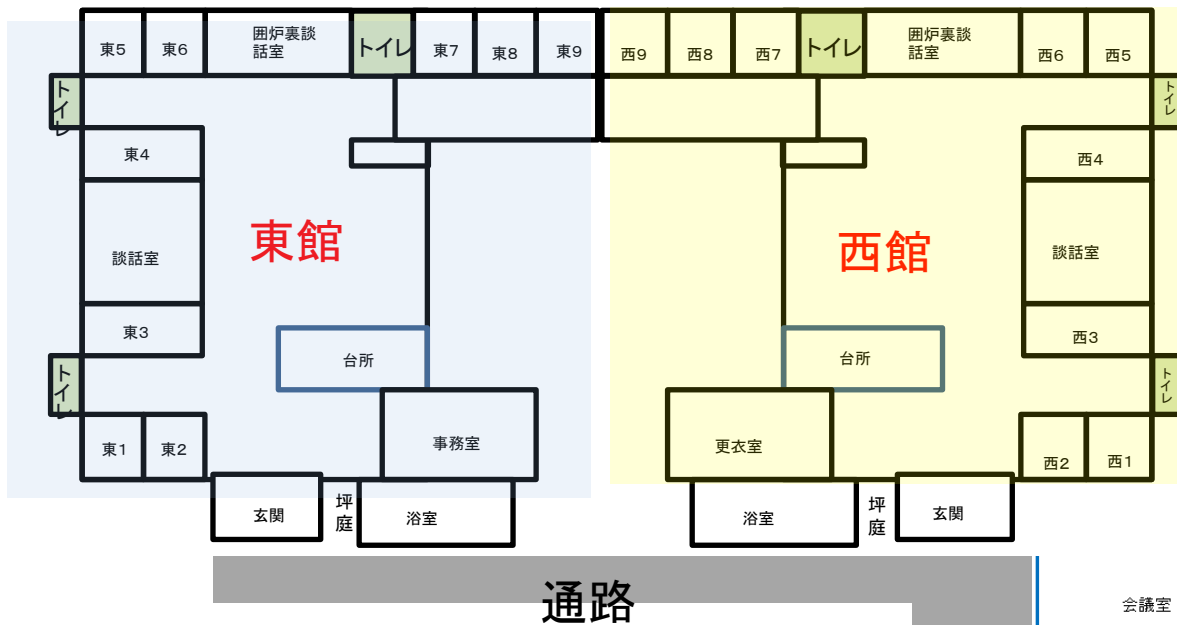
家族会毎に、コロナ感染時のシュミレーション・事例を  
伝達し理解と協力を仰いだ。

# 感染時の経過

日時	状況	対応	対応2	
1月13日	23時 中央館夜勤勤務者C 家族の発熱の連絡を受ける 夜勤帯申し送りで2名、 夜勤前に1名の職員と接触 夜勤で中央館8名の利用者と接触	職員C の家族 陽性  全館利用者家族へ連絡	職員Cと接触した職員D職員E、 職員FをPCR検査及び自宅待機  職員Cが夜勤勤務した中央館8 名の館内隔離	11日に通常サービス再開し た業務内容を中止 【災害時業務への切り替え】 1月14日 23時より
14日	10時 PCR検査 中央館 利用者 8名 西館 利用者 2名 職員3名	職員C PCR 陽性 全館利用者家族へ連絡		中央館隔離 <b>中央館勤務者固定対応</b> 西館検査結果までの隔離
15日		検査結果 職員C以外 陰性		中央館隔離継続 東、西館について1週間は 健康管理業務を継続
16日	○15日中央館利用者A 倦怠感ありKT36.7 抗原検査実施 夜間よりKT37.6 ○自宅待機の職員Fより 咽頭痛 下痢の症状連絡	抗原検査で陰性		ユニットゾーニング実施 赤 中央館 黄 西館 青 東館
17日	利用者A 早朝KT38.7 再び抗原検査実施 14日 PCR検査の追跡検査 中央館 利用者 8名 職員D職員E職員F職員G 4名	抗原検査で陽性反応  全館利用者家族へ連絡		
18日	利用者の感染が拡大した場合の 対応を再周知 レッドゾーンでの勤務状況を 動画で可視化 情報共有	検査結果 職員D利用者B2名陽性  全館利用者家族へ連絡	中央館感染者対応実施 館内ゾーニング 勤務する職員の固定化	ユニットゾーニング変更 赤 中央館 青 西館 青 東館
20日	PCR検査の追跡検査 中央館 利用者 8名 職員E職員F職員G職員H 4名	21日 中央館利用者6名陰性	感染拡大防止の為の取り組み	感染者への療養ケア 非感染者への感染防止ケア 消毒作業の実施
27日	利用者2名の療養期間終了			
28日	全館消毒終了後 終息宣言			

# 感染発生時の4つの対応

- ①ユニットのゾーニング
- ②消毒箇所の可視化とゾーニング
- ③非感染者への感染防止
- ④感染者へのケア

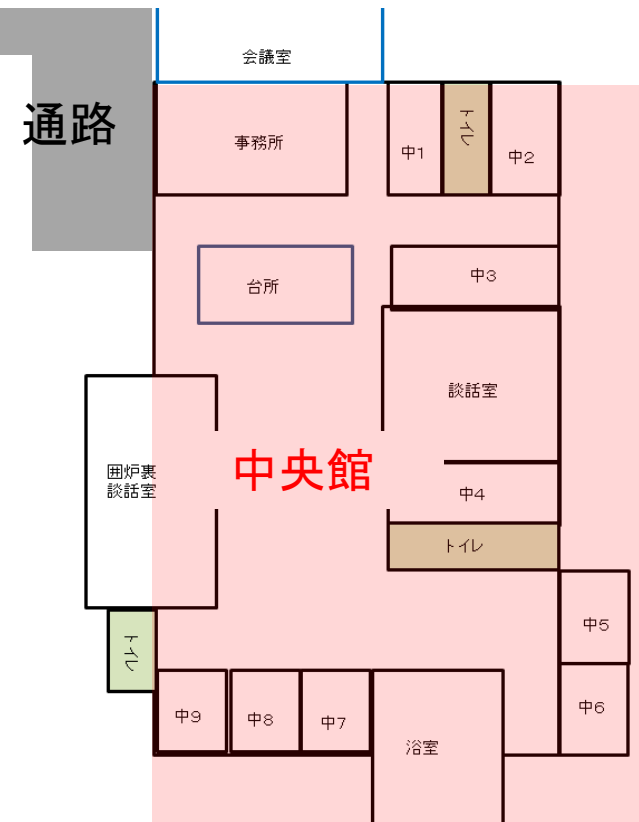


# ①ユニットのゾーニング



- 利用者にもわかりやすく
- 未経験の職員にもわかりやすく

玄関、通用口、図面に掲示して色分け





# ①ユニット内のゾーニング

- 館内の換気は紙縊りを使って流れを確認
- 非感染エリアで使用する廃棄物ゴミ箱（赤・黄）
- 感染者の部屋に入る利用者
- 屋外に出たがる利用者                      定期的に気分転換の散歩を実施
- 調理、食事提供                                  青ゾーンで調理    通路で受け渡し
- 感染エリアの業務内容を動画で情報可視化



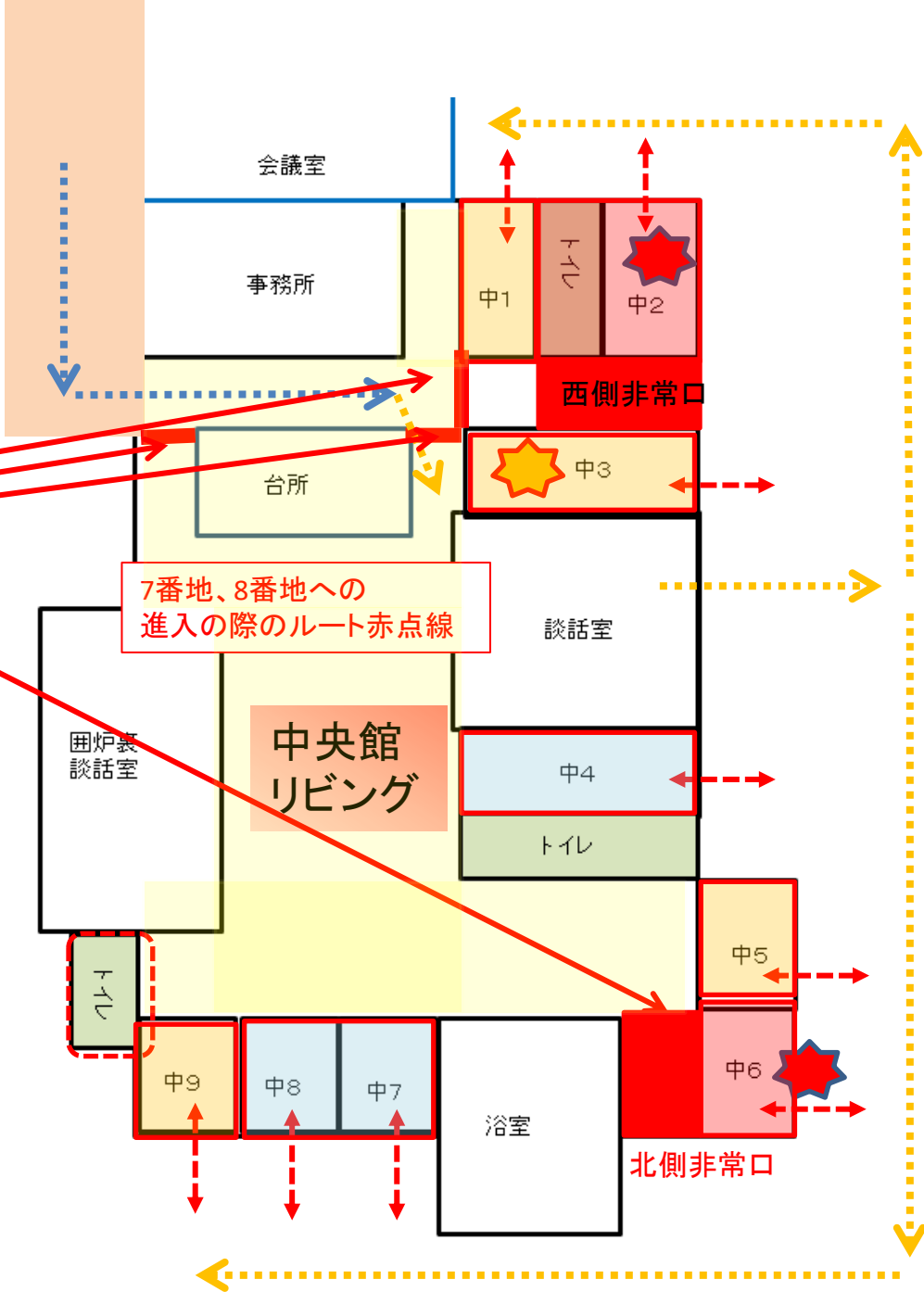
# 中央館 感染者が発生したゾーニング



閉鎖

## 館内のゾーニングの結果

- 非感染者が赤ゾーンに出入る。
- いつもと違う環境を観てソワソワ感が増す
- お兄さんどうしたの？と尋ねてくる



# 非感染者の期間中の対応 With コロナを実施



3年間マスクをつけて支援してきた  
介護者の成果!?

マスクをつけることに違和感のない利用者(\*^-^\*)

一緒に非感染エリアの消毒作業

## ②消毒作業の実施

種々の環境表面における感染力保持期間

	感染力保持期間
ステンレス鋼表面	7 d
木材表面	2 d
紙・ペーパー表面	3 h
ティッシュペーパー	3 h
ガラス表面	4 d
プラスチック表面	7 d
衣類	2 d
紙幣表面	4 d
マスク内層	7 d
マスク外層	>14 d



・左記のデータを参考に  
感染者の居室環境に存在する材質  
に飛沫して菌の生存している  
状況を可視化し接触の注意と消毒  
を実施

また  
厚生労働省専門家会合資料から  
陽性確定日から感染者が経過日毎  
に菌を保菌する割合を表にした資  
料を参考に一覧表を作成し、  
感染リスク状況を可視化した。

滴下ウイルス量： $10^{7.8}$  pfu/ml を 5 $\mu$ l 滴下.

保持温度：22℃

採取日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
保菌割合	96.30%	87.10%	74.30%	60.30%	46.50%	34.10%	23.90%	16%	10.20%	3.60%

### ③感染者のケアと環境消毒

利用者A		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
検査日					採取日	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目		
PCR/陽性確定			PCR	陰性	抗原検査	陽性											
発熱経過		接 触 日	夜37.6	37.6	37.3	36.8	36.5	37	36.6	36.7	36.4	36.3	36.5	36.4	36.5	36.2	
解熱日				発熱			○	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	
菌の保菌割合			保菌割合														
						96.30%	87.10%	74.30%	60.30%	46.50%	34.10%	23.90%	16%	10.20%	3.60%		
紙	3時間	ドア障子 ふすま障子															
木材	2日間	ドア・床・ふすま															
衣類	2日間	シーツやマットレス															
ガラス	4日間	居室屋外 ドア 洗面台															
プラスチック	7日間	洗面台・ベッド															
ステンレス鋼	7日間	洗面台・ベッド															

利用者B		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
検査日			採取日			採取日		1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目
PCR/陽性確定			PCR	陰性		PCR	陽性										
発熱経過		接 触 日		36.7	夜37.6	36.4	36.6	36.2	36.5	36.8	36.5	36.2	36.3	36.5	36.6	36.4	36.3
解熱日					発熱		○	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	11日目
菌の保菌割合			保菌割合														
							96.30%	87.10%	74.30%	60.30%	46.50%	34.10%	23.90%	16%	10.20%	3.60%	
紙	3時間	ドア障子 ふすま障子															
木材	2日間	ドア・床・ふすま															
衣類	2日間	シーツやマットレス															
ガラス	4日間	居室屋外 ドア 洗面台															
プラスチック	7日間	洗面台・ベッド															
ステンレス鋼	7日間	洗面台・ベッド															

利用者A		金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
検査日		13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
PCR/陽性確定			PCR	陰性	抗原検査	陽性											
発熱経過			夜37.6	37.6	37.3	36.8	36.5	37	36.6	36.7	36.4	36.3	36.5	36.4	36.5	36.2	
解熱日				発熱			○	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目	10日目	
菌の保菌割合									保菌割合								
						96.30%	87.10%	74.30%	60.30%	46.50%	34.10%	23.90%	16%	10.20%	3.60%		
紙	3時間	ドア障子 ふすま障子															
木材	2日間	ドア・床・ふすま															
衣類	2日間	シーツやマットレス															
ガラス	4日間	居室屋外 ドア 洗面台															
プラスチック	7日間	洗面台・ベッド															
ステンレス鋼	7日間	洗面台・ベッド															

### 21日土曜日

接種日から5日

熱 36.6 解熱して3日目

菌の保菌割合46.5%

居室内に潜む菌の滞在期間2日

本人が保菌する割合は50%弱。  
解熱していても感染するリスクがあり、  
プラ、ステン等には長く滞在することが予想される為、特に注意が必要と考えた。

### 22日日曜日

接種日から6日

熱 36.7 SPO2 95%代を安定

解熱して4日目

菌の保菌割合34.1%

居室内に潜む菌の滞在期間2日

居室に潜む菌の環境状況を  
22日を1日目にカウントし  
菌のリスクに注意を図り  
除菌作業を徹底。 本人もこの日に入浴  
全ての衣類、寝具等の熱湯消毒を実施

2回目の  
居室消毒の実施  
終了後、終息宣言



# コロナを経験して今後の課題

- 備品の事前準備 (掲示物等も事前に準備する)
- 感染進入は防げない 県内の感染情報を基に、  
※潜伏期間からの感染を防ぐ為には職員家族からの協力が必要 「職員、家族間の報連相を！」
- 非感染者がエリアに入る対応やストレス緩和方法 「可能な限り日常に近い支援を」
- 感染期間中の業務マニュアルの作成 「必要な業務の抽出」
- ガウンテクニック・消毒作業スキルの習得 「何度も訓練する」
- 感染環境の可視化で拡大防止 「可視化でわかりやすく」

実務を行う私達自身で、事業所の環境に応じた  
感染対策と拡大防止を創意工夫しながら、  
自分の身を守り、家族を守り、利用者を守り  
安心できる暮らしの場を提供できるようにしていきたい

